

芸術工学研究科未来プラン2021

～デザインで社会創発に挑戦する芸術工学～

■ 芸術工学研究科未来プラン2021で目指すこと

芸術工学部および研究科は、持続可能で多様性を尊重した創造的総合大学「名市大」の発展に対して、「デザイン」の視点と技術をもって寄与します。加速する少子高齢化、エネルギー供給不安や自然災害の恐怖に対峙し、ICTの進化とSociety5.0時代の構築に向けて、「コトのデザイン」から「モノのデザイン」まで、戦略的ビジョンを打ち出して、社会創発に挑戦します。人間を深く理解したうえで、デザインの先端技術を活用して、多様な人々が互いの価値観を尊重し、世界の誰もが平和と豊かさを享受できる持続可能な社会作りに貢献します。

■ 社会情勢の変化・現状と課題

少子化高齢化、南海トラフ巨大地震、新型コロナウイルス感染症拡大対応を契機とした新しい生活様式など、日本および世界を取り巻く環境は多様化し複雑化しています。そのなかでSDGs未来都市である名古屋市は、Society5.0の実現に向け、AI、IoTなど高度ICTを活用したまちづくり、それを支える環境づくり・ひとづくりを基本方針として打ち出しており、リニア中央新幹線の開業を初めとして、今後十数年間に名古屋市は他都市と比較して大きな飛躍を遂げると予想されます。芸術工学部および研究科は、名古屋市立大学の附属病院拡大や新学部創設を背景に、戦略的なデザインビジョンをもって異分野融合型の革新的研究を推進し、幅広い年齢層や多様な文化背景の学修者に対応できるよう、他学部・他研究科との共創により柔軟な教育プログラムの構築を目指します。

■ 代表的な取り組み

デザインで社会創発する人材を育成

人間社会についての広い視野と高い感性、科学技術に関する知識と技術をもとにして、多面的諸要求、機能をコーディネートし、調和のとれたデザインを実現する能力を備えた人材を育成します。

名市大未来プラン2021 1-(1)(3)

都市環境と健康福祉に貢献する先端研究

戦略的ビジョンと先端技術を基盤に、人間理解、社会、制度、価値観を含む様々な要素を視野に入れて、新たなデザイン研究に挑戦します。

名市大未来プラン2021 2-(1)(3)(4)

時代の一步先を開拓

18歳人口の減少に伴う厳しい大学間競争を勝ち抜くため、デザインをキーワードとする魅力的なプログラムを提供することで名古屋市の高等教育施策に貢献し、市民からさらに愛され利用される芸術工学部へ進化します。

名市大未来プラン2021 8-(2)(5)

1. 教育

(1) デザインで社会創発する人材を育成

人間社会についての広い視野と高い感性、科学技術に関する知識と技術をもとにして、多面的諸要求、機能をコーディネートし、調和のとれたデザインを実現する能力を備えた人材を育成します。

名市大未来プラン2021 1-(1)(3)

【実行項目】

- ①デザイン力で戦略的に新しい事柄を切り開く力を育成（2021年度～）
- ②数理学と造形力の基礎をもとに自ら思考できる人材を育成（2021年度～）
- ③都市内の様々なステークホルダーと連携しデザインで貢献できる人材を育成（2021年度～）
- ④地球規模の課題や地域の問題に対して学際的で広い視野で挑むことのできる人材を育成（2024年度～）

(2) 新しい学部基盤カリキュラムの構築

「デザイン」をキーワードとして理論に裏付けられた実践性を重んじる芸術工学部では、人々が安心して気持ちよく真に豊かな文化的生活を享受するために、人間理解を前提とした高いビジョンを提供する新カリキュラムを構築します。

名市大未来プラン2021 1-(1)(2)(3)(4)

【実行項目】

- ①ICTの進化とSociety5.0、またその先の時代に対応し学修者の要求に合った学部共通科目を開設（2021年度～）
- ②講義科目と実習のバランスをはかり芸術工学の共通基盤を強化（2021年度～）
- ③広い視野を持ち、理論と実践を俯瞰的に考えることのできる人材を育成するプログラムの充実（2021年度～）
- ④多様な学修ニーズ（キャリア支援・リカレント含む）に対応し、起業家教育を視野に入れた柔軟なカリキュラムの構築（2024年度～）
- ⑤専門を超えた広い視野で質の高い教育を推進するためのFDの実施（2021年度～）

(3) 先端技術に沿った学修環境を提供

世界の潮流に即し、今後起こり得る様々な問題に対して幅広い視点でデザインを展開できるよう、質の高い教育を提供します。

名市大未来プラン2021 1-(4)(5)(6)

【実行項目】

- ①少人数による実践的教育を重んじ、多彩な専門分野の教員が、より広い視点から未来志向の総合デザイン教育を提供（2021年度～）
- ②現代の社会問題に直結する課題をとりあげて芸術工学実習を充実（2021年度～）
- ③最新のDX環境を整え、常にICTの進化に連動するカリキュラムを提供（2024年度～）
- ④人間の心身を理解し、社会変化に応じて多様で柔軟な働き方について学ぶことができる教育プログラムを構築（2024年度～）

2. 研究・産学官イノベーション

(1) 都市環境と健康福祉に貢献する先端研究

戦略的ビジョンと先端技術を基盤に、人間理解、社会、制度、価値観を含む様々な要素を視野に入れて、新たなデザイン研究に挑戦します。

名市大未来プラン2021 2-(1)(3)(4)

【実行項目】

- ①戦略的な研究テーマで、学部間・研究科間連携の学際研究を推進（2024年度～）
- ②デザインやアートの感性と技法を活かし、希望と共感をもって社会創発（2024年度～）
- ③都市環境に関する先端情報研究でイノベーションの実現（2024年度～）
- ④「語りたくなるまち名古屋」と住み続けられるまちづくりの先進研究を推進（2021年度～）
- ⑤労働環境を向上させる先進デザイン研究の推進（2021年度～）
- ⑥デザインやアート制作で療養環境を向上させる先進研究の推進（2021年度～）

(2) 高い視点に基づいた共創の場づくり

社会の課題解決に貢献するため、産業界との連携を発展・継続させ、高い視点に基づいた共創の場づくりを目指します。

名市大未来プラン2021 2-(6)(9)(10)

【実行項目】

- ①産業界およびデザインやアート制作の現場との協働を誘発するオープンな環境を構築（2021年度～）
- ②環境デザイン研究所を通じて総合デザインの研究・教育成果を広く公開（2021年度～）
- ③名古屋市・中部経済界とビジョンを共有し連携を強化（2021年度～）

社会貢献

(1) 「SDGs未来都市」名古屋をデザイン

持続可能で多様性を尊重しあう「SDGs未来都市」名古屋を目指して、多彩な研究成果をもとに貢献します。

名市大未来プラン2021 3-(1)(2)(4)

【実行項目】

- ①デザインの発想と技術によって豊かで創造性あふれる魅力的なまちづくりを推進（2021年度～）
- ②「SDGs未来都市」名古屋の実現に貢献するために、名古屋市と一体となったデザイン教育を実施（2024年度～）
- ③名古屋市の歴史保存と将来を見据えたまちづくりに貢献（2021年度～）

(2) デザイン研究を市民に発信

クリエイティブ・デザインシティをさらに発展させるような、創造性あふれる魅力的な都市づくりに貢献します。

名市大未来プラン2021 3-(3)

【実行項目】

- ①ヘルスケアアートの成果を名古屋市民に発信（2021年度～）
- ②先端デザイン研究の成果を継続的に市民の学びへ提供（2024年度～）

国際化

(1) 国際連携の進化と展開

海外拠点校・協定校との連携を通じて、国際社会共通の課題であるSDGsの達成に向けて、研究・教育・社会貢献の観点から包括的に戦略を立ててビジョンを示し、この実現に努めます。

名市大未来プラン2021 4-(1)(3)

【実行項目】

- ①交流先の多様化を推進（2021年度～）
- ②協定校を含むアジア地域の国との学生交流を充実させ、エネルギーあふれるアジアの学生が来学するための仕組みを強化（2024年度～）
- ③拠点校・協定校とオンライン・ワークショップ等の交流の仕組みを拡充（2021年度～）
- ④国際化のニーズに対応できる教育力・研究力養成のためのFD活動を拡充（2021年度～）

(1) 医療環境向上に貢献

療養環境や医療従事者のための快適労働環境構築をめざしてデザインで貢献します。

名市大未来プラン2021 5-(5)

【実行項目】

- ① 高齢者ケアを含む労働環境を向上させる先進研究の推進（2021年度～）
- ② デザインやアート制作で療養環境を向上させる先進研究の推進（2021年度～）
- ③ ヘルスケアアートの成果を名古屋市民に発信（2021年度～）

経営基盤

(1) 持続的な研究費の獲得

より充実した教育・研究環境を構築するために、多様な手段による研究費・予算獲得を目指します。

名市大未来プラン2021 6-(2)

【実行項目】

- ① 科研費獲得の支援体制を拡充（2021年度～）
- ② 受託共同研究等の外部に対する働きかけを強化（2021年度～）

(2) 長期展望に基づく施設メンテナンスの実施

少人数による実践的教育環境を維持し、一方で他学部・研究科との設備・教育資源の共同利用によってコスト削減に努めます。

名市大未来プラン2021 6-(5)

【実行項目】

- ① 施設メンテナンスを定期的に実施し先端設備、少人数による実践的教育環境を維持（2024年度～）
- ② 他学部・研究科との設備・教育資源の共同利用によってコスト削減（2024年度～）

組織マネジメント

(1) 人材の確保・育成

幅広い視点を提供できるような高いビジョンをもつ人材の育成および獲得に努めます。
人材マネジメントを強化することで、成長し続ける芸術工学部を実現します。

名市大未来プラン2021 7-(3)

【実行項目】

- ①様々なライフステージに対応した能力を発揮できる職場づくり（2021年度～）
- ②他学部・研究科や他大学の芸術工学部と交流し、学部運営に対する意見交換を拡充（2021年度～）
- ③芸術工学部・研究科の運営・業務進行などについて自己点検・自己評価を充実（2021年度～）

MIRAIへの展開

(1) 時代の一步先を開拓

18歳人口の減少に伴う厳しい大学間競争を勝ち抜くため、デザインをキーワードとする魅力的なプログラムを提供することで、名古屋市の高等教育施策に貢献し、市民からさらに愛され利用される芸術工学部へ進化します。

名市大未来プラン2021 8-(2)(5)

【実行項目】

- ①芸術工学の特性を活かして魅力的な社会を創発（2021年度～）
- ②高校の教育現場と協力し、活気ある高校生をいち早く取り込むような仕組みを構築（2021年度～）
- ③萱光会との連携を深め芸術工学部・研究科のプレゼンスを向上（2021年度～）

(2) キャンパスの最適活用

学生がキャンパスにそれぞれのワークスペースを確保して実践的教育を受ける環境を維持し、一方で複数キャンパスとの協働によって設備・教育資源をより効率的に活用します。

名市大未来プラン2021 8-(3)

【実行項目】

- ①少人数による高度な実践的教育環境を維持しつつ、一方で複数キャンパスとの協働によって設備・教育資源をより効率的に活用（2024年度～）